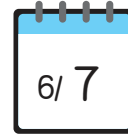


まちの話題



いつもは入れない 場所にドキドキ

下士幌小の3年生8人が社会科見学で役場庁舎に来庁しました。初めて役場に来る児童も多く、庁舎内や仕事内容に興味津々。たくさん写真を撮っていました。普段は入れない展望室も見学しました。展望室は今年の夏から始まる耐震改修工事を取り壊される予定なので、見学は今年で最後になりそうです。議場や町長室にも入った児童は「すごい」「豪華！」と大興奮。最後には町長室で町長を囲んで記念撮影しました。



子どもの目線で 事故予防

子育て支援センターすずらんで「小児救急講座」が開かれ、7組が参加しました。音更消防署から講師を迎え、救急車を呼ぶ時の注意や、家庭内の事故の予防方法などを学習。その後、乳児の人形で心肺蘇生法を体験しました。講師からは「子どもは胸を圧迫した時に骨が折れることもあります。後から治せるので蘇生を優先してください」と小児救急講座ならではの説明もあり、参加者は熱心に受講していました。





色とりどりの花に癒やされて



花を通じて環境美化に取り組むサークル「フラワーシンフォニー」と音更高校の「農業倶楽部」が、協力して役場庁舎玄関にプランターを設置しました。会長の塚田さんは「役場にきた人に花を見てもらいたい。来庁時にはご自由に花がら摘みなど手入れをしてください」と笑顔で語ってくれました。



新鮮な野菜に行列



今年も道の駅おとふけでおはよう青空市が始まりました。新鮮な野菜や花などを求め、開店前からお客さんが行列を作っていました。人気の野菜は開店10分ほどで売り切れてしまうなど、今年も大盛況です。おはよう青空市は、10月まで毎月第2・第4日曜日に開かれています(8月は第1・第4日曜日開催)。



バランスの良い食事で家族健康



総合福祉センターで今年度の幼児家庭教育学級(ママとパパの講座)開級式が行われました。就学前の幼児を持つ親が対象で、今年度は22人が参加。1回目は「子どもの病気と家族の健康」と題し、子どもの感染症や家庭内での事故、幼児の食事についての講話を受けました。皆さん真剣に聞き入っていました。



週に2回は運動を



ノルディック・ウォーキング体験会が行われました。今回は雨のため場所をサンドームおとふけに変更。はじめに保健師から健康についての講話があり、準備体操の後、ランニング走路175mを10周。休憩中は指導員にコツを聞いたり、保健師に健康のアドバイスをもらったりと、皆さん熱心に参加していました。